

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課、有料道路課
担当課長名： 深澤 淳志、上野 進一郎

事業名：京都縦貫自動車道 一般国道478号 京都第二外環状道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 近畿地方整備局 西日本高速道路(株)								
起終点：自：京都市西京区大枝沓掛町 至：京都府久世郡久御山町森	延長：L=15.7km									
事業概要：京都縦貫自動車道は、京都府宮津市と京都府久御山町を結ぶ全長約100kmの高規格幹線道路である。京都第二外環状道路は、京都縦貫自動車道の一部区間を構成する延長15.7kmの環状道路として、沿線地域の交通混雑の緩和や安全かつ円滑な交通確保による交通環境の改善を図るとともに、名神高速道路や京滋バイパスなどと一体となって広域道路ネットワークを形成し、高速道路の利便性を向上することで、地域の活性化を図ることを目的に計画された道路である。										
H元年度事業化	H元年度都市計画決定	H3年度用地着手								
H9年度工事着手										
全体事業費：約4,269億円 事業進捗率：約61% 供用済延長：5.9km(専用部) 5.7km(一般部)										
計画交通量：専用部：12,100～25,200台/日 一般部：9,800～18,900台/日										
費用対効果分析結果： <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">1.1</td> <td style="width: 35%;"> 総費用(残事業/事業全体)：1,293/4,612億円 (事業費：1,217/4,467億円 維持管理費：76/145億円) </td> <td style="width: 35%;"> 総便益(残事業/事業全体)：2,832/4,877億円 (走行時間短縮便益：2,492/4,310億円 走行経費減少便益：256/456億円 交通事故減少便益：84/112億円) </td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>2.2</td> <td></td> <td> 基準年：平成20年度 </td> </tr> </table>	B/C(事業全体)	1.1	総費用(残事業/事業全体)：1,293/4,612億円 (事業費：1,217/4,467億円 維持管理費：76/145億円)	総便益(残事業/事業全体)：2,832/4,877億円 (走行時間短縮便益：2,492/4,310億円 走行経費減少便益：256/456億円 交通事故減少便益：84/112億円)	(残事業)	2.2		基準年：平成20年度		
B/C(事業全体)	1.1	総費用(残事業/事業全体)：1,293/4,612億円 (事業費：1,217/4,467億円 維持管理費：76/145億円)	総便益(残事業/事業全体)：2,832/4,877億円 (走行時間短縮便益：2,492/4,310億円 走行経費減少便益：256/456億円 交通事故減少便益：84/112億円)							
(残事業)	2.2		基準年：平成20年度							
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.4(交通量+10%) B/C=2.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費+10%) B/C=2.4(事業費-10%)										
事業の効果等： <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保(現道等の年間渋滞損失時間を約2割削減。) ・国土・地域ネットワークの構築(当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。) 他12項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見： <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年8月及び11月、京都縦貫自動車道・新名神高速道路等整備促進協議会(京都府他関係首長及び議長より構成)より早期整備の要望を受けている。 ・平成20年8月、京都縦貫自動車道京都第二外環状道路建設促進議員連盟(京都府他関係3市1町の議会議員で構成)より早期整備の要望を受けている。 										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：残事業区間沿線の洛西・乙訓地域では、一般道路において慢性的な交通渋滞が発生している。また、当該地域では、生活道路に多くの大型車が流入しているため、安全性の確保が必要となっている。										
事業の進捗状況、残事業の内容等：現在までに、用地取得は65%完了、平成15年度に大山崎JCT・IC～久御山IC間の専用部5.9km、一般部5.7kmを供用しており、今後残る区間の用地買収及び工事進捗を図る。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等：引き続き事業を推進し、平成24年度内の供用を目指す。										
施設の構造や工法の変更等：施工にあたっては、建設発生土の有効活用等によりコスト削減を図っている。										
対応方針	事業継続									
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。									

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

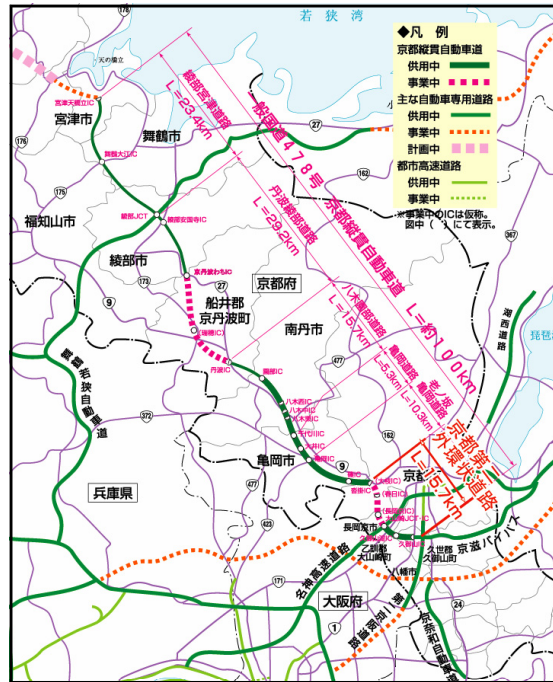
担当課：道路局 国道・防災課、有料道路課

担当課長名：深澤 淳志、上野 進一郎

事業名	京都縦貫自動車道 一般国道478号 京都第二外環状道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局 西日本高速道路(株)
起終点	自：京都市西京区大枝沓掛町 至：京都府久世郡久御山町 森	延長	L=15.7km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

